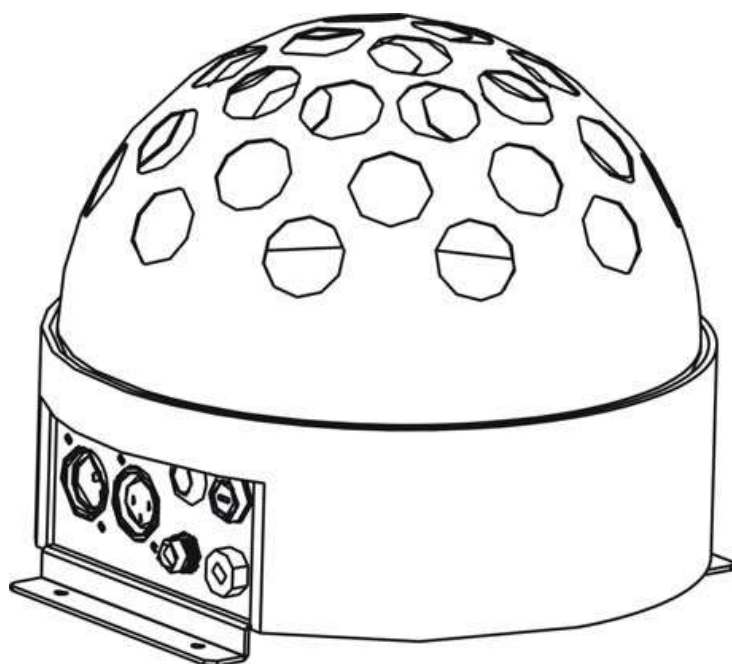


エフェクトライトユーザー マニュアル

SL-033

このマニュアルは大切に保管下さい



この度は、RaizEmotion クリスタルボール SL-033 をお買い上げになりましたありがとうございます。事故防止のための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示してあります。この取扱説明書を熟読のうえ、正しく、安全にお使いください。また、常にご覧いただけるよう大切に保管ください。

この度はクリスタルボール SL-033 をお買い上げ頂きありがとうございます。

まず開封して下さい。

箱の中には、装置、マニュアルがあります。

本製品は、出荷の前に

運送の際の破損がないか注意して下さい。

もしあるようでしたら、弊社に連絡頂き、設置しないで下さい。

基本機能

電気容量：2.5W

機能：ストロボ機能・調光機能・RGB調色機能

モード：DMX 6CH

ビーム角 120°

サイズ：φ176mm×H154mm

重量：0.45kg

安全にお使いいただくために必ずお守りください

この取扱説明書および製品への表示では、安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人

への危害や損害を未然に防ぐために守っていただきたいことを記載しています。ご使用前

によく読んで必ずお守りください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

WARNING
警告



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

CAUTION
注意

この製品は工場から厳密のチェックののち出荷されました。この状態を保ち、安全な操作を確保するため、使用する際には必ず、安全に関する注意とユーザーマニュアル記載の警告を遵守して下さい。



WARNING

警告

この商品は、屋内専用です。この装置を雨や露にさらさないで下さい。

筐体を開ける前に主電源を抜いて下さい。

もしこの製品が気温の変化にさらされていた場合、スイッチをすぐには入れないで下さい。生じた凝結により製品が損なわれる可能性があります。室温に達するまでスイッチをオフにしておいて下さい。

電気接続は資格のある方によって設置・施工工事を行ってください。

定格電圧AC100V 50/60Hz でご使用下さい。

外部環境温度が、40度以上の時には使用しないでください。

使用中、本体の表面温度は最大 85℃まで上昇し、またランプが点灯している間は常に爆発の危険性をはらんでいます。発熱部分に触らないようお願いします。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に折り曲げたり、ねじったり、引張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。

この製品を使用していないとき、もしくは清掃する前は常に主電源をお切り下さい。電源コードはプラグを持って抜き、決してコードを引っばって抜くことのないようにして下さい。

手動での変更によって生じたこの製品への損害は保証の対象とならないことにご注意下さい。

子供や操作に不慣れな方を近づけないで下さい。

1.1) 分解・改造など、きょう体をあける行為はしないでください。

火災・感電の原因になります。

1) 濡れた手で製品やコンセントに触れないでください。

感電の原因になります。

2) 電源コードを熱に近づけないでください。

コードの被覆が溶けて火災や感電の原因になります。

2) 電源コードを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜く。

コードが傷つき火災や感電の原因になります。

2.1) 異常時は、すぐに使用をやめてください。

煙が出る、においがする、水が入ったなど、異常のときは火災の原因になります。

ただちに電源プラグを抜いて弊社にご連絡ください。

1) 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気、熱の発生する所に設置しないでください。

火災の原因になります。

1) 内部に水や異物を入れないでください。

水や異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

- 3) 移動や転倒の防止をしてください。
衝突などで怪我の原因となります
- 1) ぐらついた台の上や傾いたところ、通行場所など、不安定な場所におかないでください。
落ちたり倒れたりして怪我の原因になります。
- 1) 製品、電源コードの上に物をおかないでください。
壊れたりして怪我の原因になります。
- 1) 落としたり破損した場合は、電源をすぐ抜いて弊社にご連絡してください。
火災や感電の原因になります。
- 2) 電源コードが傷んだときは、すぐに修理を依頼してください。
火災や感電の原因になります。
- 1) 開口部に異物、手を差し込んだり落としたりしないでください。
火災や故障、けがの原因になります。
1. 2) 雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。
感電の原因になります。
- 2) 工事は専門業者に依頼してください。
工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物破損の原因になります。
- 2) ねじや固定機構はしっかり締め付ける。
締め付けが緩むと落下などでけがの原因となります。
- 2) 定期的に点検してください。
金具やねじが錆びると、落下などでけがの原因になります。
- 1) コネクタ端子は、絶対にショートさせないでください。
故障や感電の原因になります。
- 1) 電子レンジや高圧容器内に製品を置かないでください。
故障の原因となります。



本体カバーをはずさないで使用してください。

本体を調光回路に接続しないで下さい。

3) 接続の際は、電源を切ってください。

感電の原因となります。

3) 指定の電源コード、接続コードを使用してください

火災や故障の原因となります。

1) 不安定な場所に設置しないでください。

落下などでけがや故障の原因となります。

1) 通風孔をふさがないでください。

熱がこもって火災や故障の原因になります。

1) 電源コードを下にたらししないでください。

コードに引っかかってけがや故障の原因となります。

3) 取り付け部分の強度の確認をしてください。

取り付け部分の強度が不十分のとき落下などでけがの原因になります。

1) 金属のエッジを強くこすらないでください。

強くこするとけがの原因となります。

1) 本体、コードを布団で覆った状態で使わないでください。

熱がこもって火災の原因となります。

その他の注意点

この製品はこのマニュアルの最後のページに記載されている技術仕様にある最大交流にのみ稼働させることが可能です。

照明効果は永久使用を想定しておりません。定期的に製品電源を落とすことで、長期においての使用が可能です。(1日 8時間を目安としてください。)

設置場所を選ぶ際、機械が高温度や湿気または埃にさらされていないことを確認して下さい。(暖房などの噴出し口近くには設置しないで下さい。)

投影機と照射面との距離は最小でも 0.5メートル以上なければなりません。

装置はその機能を十分知ってから稼働させて下さい。この装置を扱う資格のない人に操作させてはいけません。ほとんどの故障は習熟されていない方の操作によって起きています。

もしこの製品を輸送するようでしたら、元々のパッケージをご使用下さい。
安全上の理由から、この製品に対するあらゆる改造は禁止されています。

製品使用がこのマニュアルに記載されたものと違った使用をした場合、製品は故障する可能性があり、また保証対象外になります。さらに、間違った使用法により、短絡や失火、電気ショック、電球の爆発、衝突、最悪の場合 命を落とす危険性があります。

異常がある際には、使用を中断し速やかに販売店に御連絡ください。

設置のやり方

本体内部を覗くなど、本製品から発する光を直接見たり人の目に向けたりしないで下さい。
大変強い光であり、目を損傷・失明などの危険性があります。

非常に破損しやすい為、取扱いには十分ご注意下さい。ランプに直接手を触れると油脂が付着して破損することがあります

本体電源のオン/ オフを短い時間に連続して行うと故障の原因になりますので御注意ください。



② 機械の据え付け



警告

設置時には 60598-2-17 やその他の日本国内の法律を留意下さい。資格のある方によって設置はなされなければなりません。

本体の設置は、設置場所が最低 10 倍の荷重に 1 時間変形なしに耐えうるようであればなりません。

セーフティーケーブルなどを使って、2 重の安全を確保した上で設置して下さい。

設置や撤去、稼動時には絶対に真下に立たないで下さい。

装置を最初に稼動させる前に、操作する人は安全が確保されかつ装置が技術的に正しく設置されたことについて、専門家の承認を得なければなりません。

この設置は 1 年に 1 度技術のある人によって点検がなされなければなりません。



警告

初めて稼動させる前に、専門家に設置が正しいことの承認を得なければなりません。

警告：

装置は人の手が届いたり、そばを歩けたり、座れたりできるようなところに設置されてはなりません。



警告

設置時、最低 0.5 メートルの距離のうちに可燃物がないことを確認して下さい。

頭上への据え付けは高度な経験が必要とします。この経験は、使用荷重制限の計算や、使用される機材の導入や、導入する機材と機械の定期的な安全検査を含みます。もしこれらの経験をお持ちでないようでしたら、ご自身での設置は試みないで下さい。正しくない設置は怪我を負う原因となりえます。



警告

電気接続は資格のある方によってなされなければなりません。

本体の接続

使用電源

本製品は定格電圧AC100V 50/60Hz で使用して下さい。電源ケーブルをコンセントに接続する前に電源を確認して下さい。(調光回路等では使用しないで下さい。)

注意：異常電圧に御注意ください。異常電圧における故障は保証対象外になります

(例:1 次側電源の電圧降下・回路の容量オーバーによる電圧降下・発電機での使用など)

コントロール方法

- 1 本体操作(オートプレイ・音調同期)
- 2 DMXコントロール

1、本体操作

本体の MENU・UP・DOWN・ENTER のボタンで、設定モードの切替可能です。

MENU メニューボタンで、ファンクションモードを選びます。

UP/DOWN モードの切替を行います。

ENTER 決定を行います。

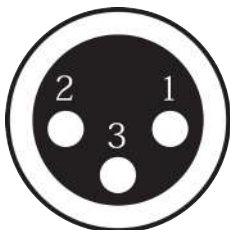
	モード	ディスプレイ表記
1	DMX-512モード	d001
2	赤ライトモード	A 1 X X
3	緑ライトモード	A 2 X X
4	青ライトモード	A 3 X X
5	3カラーモード	A 4 X X
6	7カラーモード	A 5 X X
7	自動変化モード	A 6 X X
8	ストロボモード	A 7 X X
9	音調 ストロボモード	S 1 X
10	音調 カラーモード	S 2 X

出荷時は、S 2 Xの状態です。

付属の XLR ケーブルをコントローラーの 3 ピン XLR メス出力端子に接続し、もう一方の側をムービングヘッドの 3 ピン XLR オス入力端子に接続します。直列接続することにより複数のムービングヘッドをつなぐ事が可能です。必要とされるケーブルは XLR 入力と出力接続端子を持つ被覆された二心のものではないけません。下図をご参照下さい。

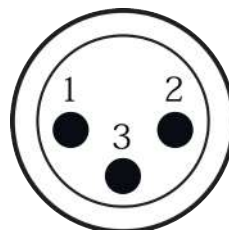
DMX-output

XLR 設置ソケット



DMX-input

XLR 設置ソケット

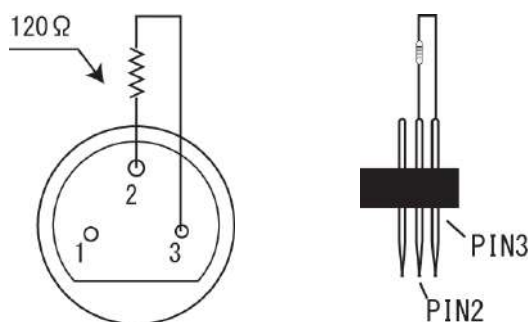


1:接地 2:--信号 3:+信号

1:接地 2:--信号 3:+信号

DMX ターミネータを用いた DMX-512 の接続

DMX ケーブルが長い距離になったり、ディスクのように電氣的にノイズが発生するような環境での設置は、DMX ターミネータの使用を推奨します。これは電氣的ノイズからデジタル制御信号の破損を防ぎます。DMX ターミネータはピン 2 と 3 の間に接続された 120 オーム抵抗を伴う XLR プラグであり、これを直列接続の最後に位置する装置の XLR 出力ソケットに接続して下さい。下のイラストをご覧ください。



注意：ノイズ・高調波などによる故障は保証対象外になります。

DMX スタートアドレスの選択

DMX 信号を使用する時は、全ての装置に DMX スタートアドレスを設定する必要があります。これによって、制御信号に対して正しい装置が反応できるようになります。

このデジタルスタートアドレスとは、DMX コントローラーより送り出されるデジタル制御情報のうち装置が反応する初めのチャンネル番号のことです。このスタートアドレスの割り当ては装置の本体上にあるディスプレイで正しい番号を設定することによりなされます。

接続した全ての装置、または装置のグループに対して同じスタートアドレスを設定することができます。もしくは個々の装置に異なるアドレスを設定することもできます。

全ての装置に同じアドレスを設定した場合、それら全ては同じチャンネル番号から始まる同一の制御信号に反応します。別の言い方をすると、一つのチャンネルの設定の変更は全ての装置に同時に影響を及ぼします。

異なるアドレスを設定した場合、コントロールチャンネルの数に基づいて設定されたチャンネル番号から始まる制御信号に、それぞれが反応します。

いいかえると、1つのチャンネルの設定を変更は、その選択された装置にのみ有効です。

一次メンテナンス・掃除

点検中は、以下の点にご留意下さい。

- 1)機体やその一部を設置するための全てのネジはきつく締められていなければならず、腐食してはいけません。
- 2)筐体やカラーレンズ、固定設置場所(天井、宙吊り,トラス)に変形があってははいけません。
- 1)機械的に動く部品は、摩耗の痕跡があったり、不安定に回転してはいけません。
- 2)電源を供給するケーブルは傷があったり、素材疲労や堆積物があってははいけません。設置場所や使用方法によっては必要となるさらなる指示は、技能のある設置者によって順守されなければなりません。どんな安全上の問題も取り除かれなければなりません。

注意：もし、機体の外部ケーブルやコードに損傷がある場合、危険を避けるために、それは製造業者かサービス員または同様の資格ある人によってのみ、交換されなければなりません。



◇灯体の清掃方法◇

本製品は、定期的なメンテナンス・清掃が必要になります。清掃を行わないまま御使用を続けると、機器故障の原因、埃や油分付着に因るランプ等の爆発や火災の原因になります。

是非、メンテナンス方法を御理解戴き、定期的な点検・清掃を行ってください。

－清掃に必要な道具類－

- エアーコンプレッサー & エアーダスター
- 布
- 綿棒

外観部の清掃に関して

- 1、電源を切断して灯体内部が冷えてから（電源を切ってから20分以上）作業を行います。
- 2、エアーダスターで、ファン部分の埃を飛ばして下さい。
埃が酷い様でしたら綿棒等を利用し、埃を取ります。
油分が付着している場合は、無水アルコール等を綿棒につけて清掃します。
- 3、無塵布にて、ミラー、レンズ表面を清掃します。その後、灯体全面をふきとってください。
以上は使用頻度によりますが、最低月1回程度行ってください。

内部の清掃に関して

- 1、灯体の前面カバーを外します。
- 2、エアーにて内部の埃を飛ばして下さい。
- 3、GOBO / カラーフィルターも同様に清掃します。但し、カラーフィルターは絶対に手で触らないで下さい。油分によって、色焼け、ヒビ割れ等の原因になります。

灯体の前面カバーを元に戻します。

以上は使用頻度により3ヶ月回～1年程度に一度は行ってください。

軸部給油

回転GOBO などベアリング部分に、微少の錆オトシを塗布します。
多量に塗布すると、回転時に飛び散り、故障原因に繋がります。

以上は使用頻度により半年～1年に一度は行ってください。

注意：このマニュアルに記載の全ての情報についての間違いや省略は除かれます。予告なしにあらゆる情報は変更される可能性があります。

保証書とアフターサービス

製品保証に関して

保証期間内において、取扱説明書・注意書などに基づき正常な使用にて発生した故障に関しては無償修理させていただきます。ただし、保証期間内においても以下の例のような不正常な状態での使用に関して発生した故障に対しては有償となります。

有償修理

2. 取扱・使用方法が不適当な場合
3. 製品に対して、改造等が行われている場合
4. 弊社もしくは弊社以外で修理等が行われている場合
5. 天災・戦争などによる故障・損傷
6. 外部衝撃（落下など）による故障
7. 水・油（昆虫・小動物の尿尿等含）など異物が混入した場合
8. 異常電圧・指定外電源による故障・損傷（例：同一回路他電気物による電圧降下・一次側配線における電圧の降下・発電機使用による電圧異常など）
9. 消耗品の交換（電球・ヒューズ等）
10. 一次メンテナンス不足における故障（掃除不足によるランプ・ファンなどの故障／ランプの寿命オーバーによる内部故障）
10. お客様自身の調整・メンテナンスの失敗における故障
11. その他、弊社判断により、保証対象外と判断された場合
12. 屋外使用製品を除き屋外使用による故障。
13. エラー警告無視により生じた故障。

機器については、日本国内の使用においてのみ、保証が有効となります。また、いかなる場合においても、商品の使用または使用不能から生ずる損害（人身事故、災害事故、社会的な損害（金銭・時間等）に対して弊社は一切その責任を負いません。

無償保証修理

適切な環境・電源にて、メンテナンスを行い、且つ、保証期間内において自然故障した機能部品の修復。（外装等は無償範囲に有りません。）

保証期間

ご購入日から、3ヶ月となっています。

1、Technical Parameters

Light source	6x3W RGB LED(1R/1G/1B/1Y1/1P)
Power supply	95～240V/60HZ
Dimensions	183×183×160mm
Gross weight	1KG

2、Operating Instructions

Menu	NO.	説明
A1	1～9	赤+黄色、モーター速度が低速から高速へ
A2		緑+ピンク、モーター速度は低速から高速まで
A3		青+白、モーター速度が低速から高速へ
A4		ジャンプ 1_速度を高速から低速へ、モーター速度を低速から高速へ
A5		ジャンプ 2_高速から低速へ、モーター速度は低速から高速へ
A6		段階的な変化_速度は高速から低速へ、モーター速度は低速から高速へ
A7		ストロボ、モーター速度は低速から高速まで
S1	0～20	SOUND1、無音時はAUTO(トランジション)
S2		SOUND2、音が鳴らずモーターが停止するとライトが閉じます
A	001～512	DMXまたはスレーブモード注:「MENU」は機能変換ボタンです

注:「MENU」は機能変換ボタン、「UP & DOWN」は数字変換ボタン、「ENTER」は確認ボタンです。

3.DMX Control

Channel	NO.	機能の説明
CH1	0～5	ストロボ効果なし
	6～249	ストロボ速度高速から低速
	250～255	ストロボ効果なし
CH2	0	赤+黄色 LEDライト閉
	1～255	赤+黄色 LEDの明るさが暗い明るさからさらに明るい明るさに変化
CH3	0	緑+ピンク LEDライト閉
	1～255	緑+ピンク LED明るさが暗い明るさからさらに明るい明るさに変化
CH4	0	青+白 LEDライト閉
	1～255	青+白 LEDの明るさが暗い明るさからさらに明るい明るさに変化
CH5	0	モーター停止
	1～127	モーターON
	128～255	モーター速度は低速から高速まで
CH6	0～5	CH1～CH5が有効
	6～55	赤+黄色、モーター速度を低速から高速へ
	56～105	緑+ピンク、モーター速度が低速から高速へ
	106～155	青+白、モーター速度が低速から高速へ
	156～205	LEDのゆっくりとした速度変化 高速から低速へ、モーター速度は低速から高速へ
	206～250	LEDの段階的な速度変化 高速から低速へ、モーター速度は低速から高速へ
	250～255	音